

## 最上級生 赤学年の生徒達へ ヤングアメリカンズで

赤学年の皆さん、元気でしょうか。2月末から臨時休校となり、学校生活がストップしてから1ヶ月以上が経過しました。外出もままならない生活が続いているでしょうから、ストレスもたまり、気持ちもなかなか前向きになれないのではないのでしょうか。先日の登校日の時には、「ひまです。もうそろそろ学校が始まってほしいです。」「やらなければいけない事は、なんとか・・・。」「体も鍛えていました。」等、明るく話してくれた生徒達もいましたが、制約が大きい中での長期間の休みでしたので、思うようには生活できていないと思います。

来週から学校が再開される予定ですが、修了式や離任式もできないままの3学年の生活の始まりですので、なかなか最上級生としての実感はもてませんよね。しかし、皆さんは、この4月から長町中学校の中心的な役割を担います。今は、新型コロナウイルスの感染の広がり、しばらくは満足な学校生活が送れないかもしれません。大きな声で話したり、活動したりすることに制約がかかり、フラストレーションがたまるかもしれません。また自分自身の体調の維持や検温にこれまで以上の気配りをしなければならなくなります。

皆さんが戻ってきたら、しばらくの間、「我慢」「自己管理」「人との距離感」等がキーワードとなって生活する事になると思います。でも皆さんが、率先してリーダーシップを発揮してくれると、2年生や新入生の意識も変わります。最近「行動を変える(変容)」という言葉が、さかんに言われています。社会全体が不安感に覆われ、心配な日々ですが、新しい学級・学年でも「行動を変える」という事を赤学年の皆さんが様々な形で表現してくれる事で、光が見えてくるかもしれません。

皆さんは、昨年11月にヤングアメリカンズのミュージカルを実際に体験した時の事を憶えていますか？皆さんのとても楽しそうに生き生きとした姿を見て、私自身とても嬉しかった事を思い出します。いや、思い出すというのではなく、ずっとあの時の皆さんの姿が目と心に焼き付いています。当時、担当学年だった先生方も皆さんと一緒に笑い、踊り、自己解放していました。そして一緒に楽しんでいました。先生方は「生徒達がそれまで以上に明るくなった。」「あいさつの声もとても大きくなり笑顔が増えた。」と喜んでくれていました。先生方の喜びは、あの時の充実感を一緒に共有できたという事も大きなものでした。そして皆さんがどんどん成長していく姿を、私もとても頼もしく思っていました。それだけにこの事態はとても残念であり、あらゆる事が制約を受けたり、「中止」になったり「延期」になり、不確実な事が多く、心が沈みそうになります。

でも、確実な事は皆さんが3年生になるという事です。皆さんにはこの制約多き不安な時期を「距離感」を保ちつつ、「人とのかわり」を大切に、どんな状況下でも自分達の出来る事を、臨機応変に対応できる力を身に付けてほしいと願っています。そのような力を皆さんは、すでに身に付けていると思います。まずは、15日(水)、大きな声は出せないかもしれませんが、「おはようございます。」の明るいあいさつと笑顔で登校できる状態になっている事を祈りたいと思います。

あの時、ヤングアメリカンズのミュージカルで見せてくれたような皆さんの笑顔が戻ってくる日を、そして当たり前の日常が1日でも早く戻ってくることを、待ちたいと思います。